

# 日本共産党

## 磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp  
 川西町結崎 862-7 0745-43-2415  
 吉田容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風 440-5 0745-43-2861

# 40万件超直ちに秘密指定

### 秘密保護法案 さらに増大の危険

政府は、現時点で秘匿している「特別管理秘密」41万2931件を、「秘密保護法案」で機密保護の対象となる「特定秘密」に移行させる方針であることが2日までに明らかになりました。担当の磯崎(いそぎ)陽輔首相補佐官が、共同通信とのインタビューで「特別管理秘密」の件数をあげながら、当初指定の「特定秘密」を約40万件と示唆したことを各紙が報じたものです。しかし、「特定秘密」はあらゆる行政機関にわたるため、さらに増大する危険があります。政府は、2007年につくった秘密基準に該当する情報を「特別管理秘密」としています。日本共産党の赤嶺政賢衆院議員に対する政府の答弁書(今年3月12日)では、その件数は16府省庁で計41万2931件にのぼるとしています。(表)

「特別管理秘密」を扱っている職員かどうかを選別するために国の行政機関が本人に通知せず、に身辺調査した国家公務員は、少なくとも6万4380人にのぼります。

今回の秘密保護法案では、「特定秘密」の対象は「防衛」「外交」「特定有害活動の防止」「テロリズム防止」の4分野としていますが、「特定秘密」を指定する決定権は行政機関の長に委ねられ

| 行政機関の名称  | 文書数      |
|----------|----------|
| 内閣官庁     | 31万8886件 |
| 防衛省      | 4万1827件  |
| 外務省      | 1万8504件  |
| 公安警察庁    | 1万2235件  |
| 警視庁      | 1万2032件  |
| 海上保安庁    | 7516件    |
| 国土交通省    | 602件     |
| 原子力規制委員会 | 504件     |
| 経済産業省    | 370件     |
| 総務省      | 352件     |
| 財務省      | 140件     |
| 厚生労働省    | 136件     |
| 金融庁      | 49件      |
| 内閣府      | 14件      |
| 宮内庁      | 3件       |
| 文部科学省    | 1件       |

※外務、防衛の両者は「特別管理秘密」での管理ではなく、外務省は「外交文書」などの3分級で管理し、防衛省は「防衛秘密」で管理しています。

政府行政当局の恣意(しい)的判断で秘密は際限なく広げることができません。

秘密保護法案では、国家公務員だけでなく、「特定秘密」を取り扱う民間人まで身辺調査を行い、調査対象は家族や友人にも及びます。

仮に秘密保護法案が成立した場合、さらに国民の「知る権利」が侵され、多くの国民がプライバシー侵害など重大な人権侵害の危険にさらされる危険があります。

2013年11月3日(日)

「身削るなら  
政党助成金こそ」  
BS番組  
小池副委員長が強調

日本共産党の小池晃副委員長・参院議員は29日夜、BSテレビ「日経プラス10」に出演し、「消費税増税で国民の負担は増加! 国会議員の身を切る改革は」をテーマに自民党の柴山昌彦衆院議員と討論しました。

小池氏は「賃金も上がっていない状況で消費税増税すれば景気も財政も破綻する。定数削減したから消費税増税をしてよいとはならない」と述べました。その上で、普通選挙が決まった1925年と比べ日本の人口は2倍になったのに国会議員数は逆に少なくなっている事実を示し、「定数削減はするべきではない。『身を削る』というなら議員定数でなく政党助成金をやめるべきだ」と語りました。

コメンテーターの岩井奉信日大教授もヨーロッパでは人口10万人に国会議員1人、日本にこれをあてはめると1300人の国会議員になると指摘し、「身を削るとは定数削減の問題ではない」と述べました。

番組では、国会議員1人あたり年間1億円かかるという数字が紹介され、そのうち1200万円が文書交通滞在費、4000万円が政党助成金だと説明されま

した。

小池氏は、「身を削る」というなら、東京在住の議員にも地方の議員と同じように毎月100万円出ている文書交通滞在費などを見直し、削減するべきだとし、中でも「最大の政党助成金をやめるべきだ。復興のため」といいながら、なぜ政党助成金をやめようという議論が各政党から出てこないのか」と強調。政党助成金を受け取っていない日本共産党以外の各政党の財政に含まれる政党助成金の割合が、7割からはば10割に達しているデータを示し、「税金に頼る構造は異常だ」と批判しました。

柴山氏は「政党助成金をやめるのだったら、その分を立法調査費に回すべきだ」と述べ、自民党の税金漬けの体質を示しました。

岩井教授は政党助成金について「(国民)1人あたりは250円だが、総額ではこれほど多く出している国はない。いくらなんでも多い」と指摘しました。

2013年10月31日(木)

基本給16カ月連続減  
毎月勤労統計  
パートの比率高まる

厚生労働省が10月31日発表した9月の毎月勤労統計(速報値、従業員5人以上の事業所)によると、基本給を指す所定内賃金が前年同月比721円(0.3%)減の24万1855円となり、16カ月連続で前年同月を下回りました。所定内賃金に残業代などを加えた「決まって支給する」賃金も100円(0.0%)減の26万397円で、こちらも16カ月連続の減少です。

決まって支給する賃金にボーナスなどを加えた現金賃金総額は26万5376円と3カ月ぶりに増加しました。ただ、上げ幅は198円(0.1%)にとどまっています。

常用労働者数は4629万人で、うち一般労働者は0.6%増の3276万人、パート労働者は2.2%増の1353万人で、パート労働者の比率が高まりました。

就業形態別の賃金総額は、一般労働者が0.4%増の33万5846円、パート労働者は0.2%減の9万4562円でした。

物価変動の影響を加味した実質賃金は1.2%減となりました。

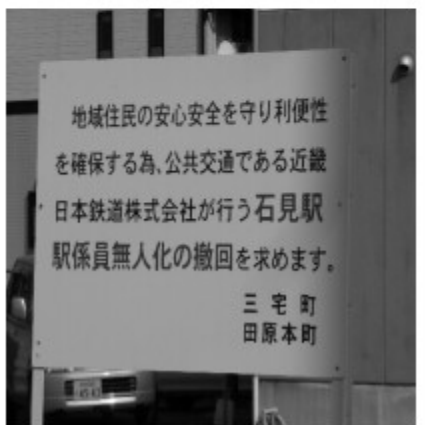
2013年11月2日(土)

## 石見駅無人化 撤廃の看板

石見駅の無人化を近鉄が三宅町に通告（7月）してきて、三宅町や田原本町の自治会による無人化廃止の署名が7000余名集まり、近鉄に提出されました。

県議会では、今井光子議員（共産党）が一般質問を行い、荒井知事も「鉄道事業者には地域振興の意識を強く持つてもらいたい」とし関係地域への十分な説明や地域要望への誠実な対応を求めていると答弁。議会最終日には太田議員（共産党）が「駅無人化問題への対応を求める意見書」を提出。全会一致で採択されました。

この運動は自治会のみならず、行政を動かす運動へと発展をしています。



先日、三宅町・田原本町の石見駅員の無人化撤廃の看板が石見駅の東西に設置されました。また、券売機も五千円、一万円札が使用できるようになっています。

## 日本のうたごえ祭典・おおさか

2日（土）大阪城ホールで65周年記念 大音楽会が夕方5時から開かれました。

合唱団で活躍していた二十代の頃は「うたごえ祭典」に参加していましたが、今回は7年振りの参加です。少しのためらいもあったのですが参加して本当に良かった！と思いました。

遂にうたごえ運動もここまで来たか！とそのレベルの高さと内容の深さに感動しっぱなしでした。全国から選ばれた団体、合唱団の出演だけに一生懸命さは勿論のことですが、企画の素晴らしさや演出にも拍手したくなりまりました。「淀川三十石船舟唄」、「浪速の祭

り」で大阪を前に出し、アコーデオンの合奏とフォークダンス「グラナダ」「ラ・クカラチャ」は綺麗な民族衣装、迫力ある高校生のチアダンス、そして朝鮮学校舞踊部の見事な美しい舞踊。中でも私が一番感動した全国職場合同・サークル合同による「こころひとつ」には大阪市長の思想調査を許さない闘いの熱い想いが込められ、力強い合唱に涙が溢れました。

どのステージをとっても「すべてのいのち輝かせ 未来への希望をうたおう」のテーマのように元氣と勇気と希望を貰えた祭典でした。

田原本議会議員 森 良子



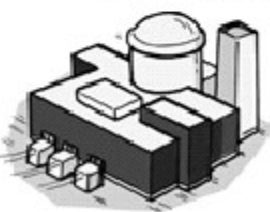
## 利益第一

今年は、夏から秋にかけても気温が高めで経過しましたが、ようやく目にする木々も色づき始め、秋らしくなって来ましたね。長期予報では、今年の冬は、それなりに冷え込みそうですので、年間の平均気温は例年通りになりそうですね。私は、趣味がスキーですので、それなりに楽しみにしているんですが、寒いのが無いのが手のかかる人には申し訳ありません。

さて、山口県の東部、瀬戸内海に面して上関（かみのせき）と言う町があるんです。ふぐで有名な下関とは、江戸時代の関所の上と下の関係でして、ちなみに、中関（なかのせき）（昭和十一年から防府市）も有ったんです。

で、その上関町に中国電力が今から三十一年前に原発の建設を計画して今日に至るんですが、建設地の対岸、四キロ沖に浮かぶ人口五百人にも満たない祝島（いわいしま）の皆さんが、ゆるぎない反対の取り組みを続けてはりまして、着工させずに来てはいるんです。

先週、ここを訪ねて来たんですが、推進派の取り込みがじりじりと増しているとの事でした。福島原発の事故があっても、中電の原発絶対の姿勢に変わりはありません。状況や影響では無く、利益の為の方針に絶対の姿勢、近鉄とも通じるものがありますね。



## 二〇一三文化祭

先日、文化祭を覗きに行きました。作品展しか観ることができませんでしたが、力作が並んでいました。

青垣こどもいけばな教室の作品は年々立派になっていきます。幼稚園の子どもが活かるとうかがいびっくりです。押し絵サークルの作品に、森の木々の中、子ども達が根元に登って生き生きと遊んでいる大作がありました。

作者の岩田愛さんは今年の8月に九十七歳の天寿を全うされたと書かれていて本当にびっくりしました。写真展は出品者の個性的な視点が新鮮でし

た。切り絵の作品を見て、去年は白黒だったのでは？

カラー作品に見とれてしまいました。一般参加の方も含め、みなさん腕をあげておられるように感じました。陶芸教室の作品に、「片向いていて、釉薬を大量に使っていることが力強さを現わしています」など一つずつ解読書がついていて工夫したところ、作者の狙いなど大変わかりやすかったです。

もっともっと参加者を増やして、文化の輪を広げてほしいものです。

